

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	59	伊那弥生ヶ丘 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	----------------	---------	---------

学校教育目標	
「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力を備えた人間を育てる	
重点目標	
1 生徒指導の充実	・自主自律精神の養成 ・いじめ・体罰のない学校づくり(人権尊重意識の向上)
2 学習指導の充実	・学力の向上 ・進路希望の実現
3 特別活動の充実	・クラブ活動の充実 ・生徒会活動の充実
4 開かれた学校づくり	・情報の発信 ・外部連携の強化

道徳教育の重点目標	
1 本校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して自律的・主体的な行動力を身につける。 2 他者と協働する活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 3 自他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。 4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本となる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○インターンシップ ○キャリアガイダンス ○自己探究 ○文理選択 ○探究基礎	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築する。 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習(いじめのない多様性を理解しあい、学校生活のために)	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○生徒会行事	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育てる。
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と自律した行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けて学びに取り組む。 ○キャリアデザインの探究 ○総合探究 ○各種職業体験活動 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○防災学習(修学旅行事前学習) ○人権学習(多文化共生社会の実現に向けて) ○スピーチ学習	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○生徒会行事 ○生徒会の運営	地理歴史	我が国及び世界の諸地域の歴史的過程と文化について理解を深め、我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重する精神を培う。
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習(社会生活の中の権利と責任)	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○生徒会行事の運営 ○ボランティア活動	公民	地球規模の諸問題を地域的課題と関連づけながら考察させ、社会づくりの担い手としての主体的な態度と資質を養う。
					数学	数学的な見方考え方を働かせ、事象を数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技術を身につけることで、日常生活の中で、粘り強く考える態度や創造性の基礎を養う。
					理科	実験・観察を通して自然と人類との望ましい関わりを洞察でき、自他の生命を尊重する態度を養う。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における物事の見方や考え方を働かせて感性を高め、豊かな情操を培い、心豊かな日々の生活や社会を創造していく態度を養う。
					外国語	外国の言語・文化に対する理解を深めると共に、テキストで扱うトピックスを中心に、国内外の諸問題について共感し、またcritical thinkingができる姿勢と下地を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	---